

2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日

上場会社名 ローランド ディー. ジー. 株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6789 URL www.rolanddg.com  
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名) 田部 耕平  
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 小川 和宏 (TEL) 053-484-1400  
 四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	13,521	6.6	515	△59.9	480	△64.8	670	△28.5
2023年12月期第1四半期	12,687	12.1	1,284	△0.7	1,365	△7.0	937	1.4

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 1,200百万円(△0.6%) 2023年12月期第1四半期 1,208百万円(△26.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年12月期第1四半期	円 銭 55.25	円 銭 —
2023年12月期第1四半期	77.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第1四半期	55,363	38,067	66.9	3,056.01
2023年12月期	54,283	36,862	66.0	2,953.97

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 37,065百万円 2023年12月期 35,823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	55.00	—	0.00	55.00
2024年12月期	—				
2024年12月期(予想)		-	-	-	-

(注) 2024年2月9日公表の「MB0の実施及び応募の推奨に関するお知らせ」のとおり、XYZ株式会社(以下「公開買付者」といいます。)による当社の普通株式(以下「当社株式」といいます。)に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)及びその後の一連の手続きを実施することにより当社株式が上場廃止となる予定であることから、2024年12月期の配当予想は記載しておりません。

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

2024年2月9日公表の「MB0の実施及び応募の推奨に関するお知らせ」のとおり、公開買付者による本公開買付け及びその後の一連の手続きを実施することにより当社株式が上場廃止となる予定であることから、当期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績につきましては記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期 1 Q	12,319,911株	2023年12月期	12,319,911株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	191,108株	2023年12月期	192,618株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期 1 Q	12,128,153株	2023年12月期 1 Q	12,161,087株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式給付信託及び株式給付型ESOP信託が保有する当社株式数(2024年12月期第1四半期190,400株、2023年12月期192,100株)が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、同信託が保有する当社株式数(2024年12月期第1四半期190,400株、2023年12月期第1四半期192,100株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2024年2月9日公表の「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」のとおり、公開買付者による本公開買付け及びその後の一連の手続きを実施することにより当社株式が上場廃止となる予定であることから、当期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績につきましては記載しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）は、地政学的リスクの高まりとそれにもなう原材料費の高騰、欧米の金融引き締めなどに起因する円安傾向が継続するなど、不透明な状況が継続した一方で、設備投資需要は堅調に推移しました。このような状況下、当社グループは、従来のサイン（広告・看板）市場向け低溶剤プリンターに依存するビジネスモデルからの変革に取り組んでおります。

当第1四半期の経営成績は、売上高は前年同期比6.6%増の135億21百万円となりました。売上原価率は、高利益率製品の販売数量の減少および新製品への切り替えにもなう旧機種値引きなどにより、前年同期に比べて0.5ポイント上昇しました。販売費及び一般管理費は、人件費や研究開発費、手数料などの増加により前年同期を上回りました。これにより、営業利益は前年同期比59.9%減の5億15百万円、経常利益は前年同期比64.8%減の4億80百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当社において退職給付制度を確定拠出年金に移行したことによる退職給付制度改定益6億6百万円を当第1四半期に特別利益として計上したことから、前年同期比28.5%減の6億70百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における主要通貨の為替レート（2024年1月～2024年3月の平均レート）は、148.61円/米ドル（前年同期132.32円）、161.36円/ユーロ（前年同期142.13円）でした。

当社および連結子会社の事業は、コンピュータ周辺機器の製造販売であり、区別すべき事業セグメントが存在しないため、単一セグメントとなっております。

### 市場別売上高

市場	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額 (百万円)	構成比増減 (ポイント)	前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)			
Visual Communication	6,240	49.2	6,627	49.0	387	△ 0.2	106.2
Digital Fabrication	2,464	19.4	2,792	20.7	327	1.3	113.3
Dental	1,915	15.1	1,785	13.2	△ 129	△ 1.9	93.2
Service, Software & Others	2,066	16.3	2,315	17.1	249	0.8	112.1
合計	12,687	100.0	13,521	100.0	834	-	106.6

### 品目別売上高

品目	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額 (百万円)	構成比増減 (ポイント)	前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)			
ハードウェア	6,383	50.3	6,176	45.7	△ 206	△ 4.6	96.8
サプライ	4,298	33.9	5,107	37.8	809	3.9	118.8
サービスパーツ・その他	2,005	15.8	2,237	16.5	231	0.7	111.6
合計	12,687	100.0	13,521	100.0	834	-	106.6

#### [Visual Communication (VC) ]

VCは、低溶剤プリンター（VC-Solvent：ブイシーソルベント）およびUVやテキスタイルプリンターなどの非溶剤系プリンター（VC-Other：ブイシーアザー）で構成され、インクの多様化とソリューション拡充により新市場の開拓と顧客基盤の強化による収益確保を目指しております。当第1四半期は、サイン（広告・看板）製作需要が旺盛な新興国向けの地域限定ブランド「DGXPRESS（ディージーエクスプレス）」に低溶剤プリンターのエントリーモデル「ER-641」を加えて、ラインナップの強化に取り組みました。VC-Solventでは、低溶剤インクの販売が好調だった一方、ハードウェアの販売が前年同期を下回りました。VC-Otherでは、新製品のロールタイプUVプリンターおよびサプライのインクが売上に貢献しました。これらの結果、VCの売上高は66億27百万円（前年同期比106.2%）と前年同期を上回りました。

## [Digital Fabrication (DF) ]

DFは、近年急拡大する1人ひとりの顧客ニーズに合わせたパーソナライズ需要や、ニッチなニーズに応えるためのカスタマイズ需要などに対応する製品群を、小規模事業者やインターネット通販事業者、小売事業者などに向けて提案することで、新たな市場・用途の創出を目指しております。当第1四半期は、さまざまな立体物にダイレクト印刷ができるフラットベッド型UVプリンター「VersaOBJECT (バーサオブジェクト)」シリーズの新製品として、1月に「MO-240」を発売しました。また、コンパクトで使いやすく、導入しやすい価格帯の卓上型製品群「VersaSTUDIO (バーサスタジオ)」に、さまざまな形状や材質のアイテムに高精細なダイレクト印刷が可能なUVプリンター「BD-8」と、DTF (Direct To Film) 転写方式のアパレル向け小型プリンター「BY-20」の2機種を追加、発売しました。また、昨年10月に株式取得をしたリトアニアの子会社DG DIMENSEで開発、製造した、エンボス表現によるユニークな壁紙をはじめインテリア装飾の製作を可能にする「Dimensor S (ダイメンサーエス)」の販売とサポートのグローバル展開を開始しました。これらの結果、「VersaOBJECT COシリーズ」のほか、卓上型低溶剤プリンター「BNシリーズ」、小型カッティングマシン「GS2-24」の販売が増加したこともあり、DFの売上高は27億92百万円（前年同期比113.3%）と前年同期を上回りました。

## [Dental]

Dentalは、デンタル（歯科医療）市場向けに歯科補綴物製作フローのデジタル化を促進するデンタル加工機を提案しています。当第1四半期は、欧米を中心に高生産モデル「DWX-53DC」の販売が進んだ一方、売上構成比が大きいスタンダードモデル「DWX-52D」は発売から5年経過し、競争力の低下により前年同期と比べ売上は低迷しました。また、価格競争力を高めた新興国向け専用モデル「DWX-52Di」はブラジルを含む中南米では販売を伸ばしたものの、アジアと中東地域では販売が減少しました。これらの結果、Dentalの売上高は17億85百万円（前年同期比93.2%）と前年同期を下回りました。

## [Service, Software &amp; Others (SSO) ]

サービスパーツやその他のサービス売上が増加したことから、SSOの売上高は23億15百万円（前年同期比112.1%）と前年同期を上回りました。

地域別売上高は、以下の通りであります。

## 地域別売上高

地域	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額 (百万円)	構成比増減 (ポイント)	前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)			
日本	1,132	8.9	1,221	9.0	89	0.1	107.9
北米	4,391	34.6	4,627	34.2	235	△ 0.4	105.4
欧州	4,483	35.4	4,951	36.7	467	1.4	110.4
アジア	735	5.8	786	5.8	50	0.0	106.9
その他	1,943	15.3	1,935	14.3	△ 8	△ 1.0	99.5
合計	12,687	100.0	13,521	100.0	834	-	106.6

## [日 本]

VCは、UVプリンターなど非溶剤プリンターとサプライのインクの販売が増加しました。DFは、3次元切削加工機および卓上型低溶剤プリンター「BNシリーズ」の販売が増加しました。Dentalは、スタンダードモデル「DWX-52D」の販売が減少しました。これらの結果、日本の売上高は12億21百万円（前年同期比107.9%）となり、前年同期を上回りました。

## 〔北 米〕

VCは、サイン市場向け低溶剤プリンターの販売が前年同期を下回りましたが、UVプリンターおよびUVインクの販売は増加しました。DFはフラットベッド型UVプリンター「C0シリーズ」や卓上型低溶剤プリンター「BNシリーズ」の販売が好調に推移しました。Dentalは、スタンダードモデル「DWX-52D」が低調だったものの、高生産モデル「DWX-53DC」の販売が進んだことから、販売は前年同期を上回りました。これらの結果、為替の円安効果もあり、北米の売上高は46億27百万円（前年同期比105.4%）となりました。

## 〔欧 州〕

VCは、サイン市場向けの低溶剤プリンターおよび前期に発売したUVプリンター「MGシリーズ」「LGシリーズ」とサプライのUVインクの販売が増収に寄与しました。DFは、卓上型低溶剤プリンター「BNシリーズ」の販売が増加しました。Dentalは、高生産モデル「DWX-53DC」の販売が進んだ一方、スタンダードモデル「DWX-52D」が低調だったことから、販売は前年同期をやや下回りました。これらの結果、為替の円安効果もあり、欧州の売上高は49億51百万円（前年同期比110.4%）となりました。

## 〔アジア〕

中国ではデンタル加工機が低調となった一方、「DGXPRESS」の低溶剤プリンターおよびUVインクの販売が増加しました。インドではデンタル加工機が低調に推移しましたが、「DGXPRESS」のUVプリンターが好調でした。これらの結果、アジアの売上高は7億86百万円（前年同期比106.9%）となり、前年同期を上回りました。

## 〔その他〕

ブラジルでは、「DGXPRESS」ブランドの低溶剤プリンターおよびUVプリンター、デンタル加工機の「DWX-52Di」の販売が好調に推移し、新興国向けモデルの販売が進みました。オーストラリアではロールタイプUVプリンターと卓上型UVプリンターの販売が増加したものの、デンタル加工機の販売は低調に推移しました。ブラジルを除く中南米地域は前年同期を上回ったものの、南北アフリカ地域は、前年同期を下回りました。これらの結果、その他の売上高は19億35百万円（前年同期比99.5%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 〔資産の部〕

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べ10億79百万円増加し、553億63百万円（前連結会計年度末比102.0%）となりました。流動資産では、現金及び預金が7億93百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が5億96百万円、棚卸資産が10億43百万円それぞれ増加いたしました。固定資産では、特に大きな変動はありませんでした。

## 〔負債の部〕

当第1四半期末の負債は、前連結会計年度末と比べ1億25百万円減少し、172億96百万円（前連結会計年度末比99.3%）となりました。流動負債では、賞与引当金が2億29百万円、その他流動負債が3億73百万円それぞれ増加し、未払法人税等が2億70百万円減少いたしました。固定負債では、長期未払金が1億23百万円増加した一方で、長期借入金が1億50百万円、役員株式給付引当金が1億48百万円、退職給付に係る負債が5億15百万円それぞれ減少いたしました。

## 〔純資産の部〕

当第1四半期末の純資産は、前連結会計年度末と比べ12億5百万円増加し、380億67百万円（前連結会計年度末比103.3%）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が6億70百万円増加したことに加え、円安の影響等により為替換算調整勘定が6億52百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月9日公表の「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」のとおり、公開買付者による本公開買付け及びその後の一連の手続きを実施することにより当社株式が上場廃止となる予定であることから、当期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績につきましては記載しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,308,896	11,515,086
受取手形及び売掛金	6,473,700	7,069,796
商品及び製品	10,228,052	10,920,626
仕掛品	66,253	90,058
原材料及び貯蔵品	5,248,668	5,575,296
その他	1,984,750	2,071,353
貸倒引当金	△58,881	△63,967
流動資産合計	36,251,441	37,178,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,204,474	9,307,997
減価償却累計額	△3,035,842	△3,184,231
建物及び構築物（純額）	6,168,631	6,123,765
機械装置及び運搬具	1,773,254	1,888,326
減価償却累計額	△869,388	△936,870
機械装置及び運搬具（純額）	903,866	951,455
工具、器具及び備品	5,324,557	5,441,398
減価償却累計額	△3,876,839	△3,985,446
工具、器具及び備品（純額）	1,447,718	1,455,951
土地	2,475,295	2,477,954
使用権資産	1,490,250	1,521,561
建設仮勘定	23,183	29,662
有形固定資産合計	12,508,945	12,560,350
無形固定資産		
のれん	1,159,376	1,167,671
ソフトウェア	1,089,856	1,174,285
電話加入権	40,124	38,412
無形固定資産合計	2,289,357	2,380,369
投資その他の資産		
投資有価証券	200	200
繰延税金資産	2,047,879	2,016,617
その他	1,186,020	1,227,851
貸倒引当金	△189	△171
投資その他の資産合計	3,233,910	3,244,497
固定資産合計	18,032,213	18,185,217
資産合計	54,283,654	55,363,467

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,037,074	4,022,877
1年内返済予定の長期借入金	600,000	600,000
未払金	1,683,189	1,767,103
リース債務	561,660	568,573
未払法人税等	737,060	467,020
賞与引当金	660,087	889,341
役員賞与引当金	57,388	4,149
製品保証引当金	861,165	957,690
その他	2,209,838	2,583,200
流動負債合計	11,407,464	11,859,957
固定負債		
長期借入金	2,250,000	2,100,000
リース債務	1,004,046	1,026,989
繰延税金負債	94,755	72,940
従業員株式給付引当金	143,943	135,716
役員株式給付引当金	148,458	—
退職給付に係る負債	515,641	—
長期末払金	90,217	213,472
その他	1,767,090	1,887,296
固定負債合計	6,014,154	5,436,415
負債合計	17,421,619	17,296,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,668,700	3,668,700
資本剰余金	2,700,899	2,700,899
利益剰余金	27,792,277	28,462,301
自己株式	△497,706	△493,375
株主資本合計	33,664,170	34,338,526
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,074,421	2,727,174
退職給付に係る調整累計額	85,053	—
その他の包括利益累計額合計	2,159,474	2,727,174
非支配株主持分	1,038,389	1,001,394
純資産合計	36,862,034	38,067,095
負債純資産合計	54,283,654	55,363,467

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年3月31日)
売上高	12,687,092	13,521,707
売上原価	6,249,627	6,728,228
売上総利益	6,437,465	6,793,478
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	355,151	383,208
広告宣伝費及び販売促進費	339,875	400,737
貸倒引当金繰入額	7,092	6,927
製品保証引当金繰入額	26,876	54,914
給料及び賞与	2,030,353	2,355,008
賞与引当金繰入額	184,807	181,688
役員賞与引当金繰入額	13,426	4,149
従業員株式給付引当金繰入額	1,539	451
役員株式給付引当金繰入額	19,899	—
退職給付費用	87,948	91,927
旅費及び交通費	162,904	214,511
減価償却費	233,732	319,869
支払手数料	385,786	755,585
研究開発費	748,539	897,135
その他	554,547	612,245
販売費及び一般管理費合計	5,152,483	6,278,361
営業利益	1,284,982	515,116
営業外収益		
受取利息	6,082	21,571
受取配当金	4,260	4,700
為替差益	50,510	—
その他	35,962	49,682
営業外収益合計	96,815	75,953
営業外費用		
支払利息	10,297	12,513
為替差損	—	97,037
その他	5,929	931
営業外費用合計	16,227	110,481
経常利益	1,365,569	480,588

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年3月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	2,547	1,920
退職給付制度改定益	—	606,390
特別利益合計	2,547	608,311
<b>特別損失</b>		
固定資産除売却損	5,405	3,633
特別損失合計	5,405	3,633
税金等調整前四半期純利益	1,362,710	1,085,266
法人税、住民税及び事業税	415,737	414,983
法人税等調整額	9,457	77,500
法人税等合計	425,195	492,484
四半期純利益	937,515	592,782
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9	△77,242
親会社株主に帰属する四半期純利益	937,506	670,024

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	937,515	592,782
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	260,641	693,000
退職給付に係る調整額	9,964	△85,053
その他の包括利益合計	270,605	607,946
四半期包括利益	1,208,121	1,200,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,208,105	1,237,723
非支配株主に係る四半期包括利益	16	△36,994

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(当社株式に対する公開買付けについて)

当社は、2024年2月9日開催の取締役会において、XYZ株式会社（以下、「公開買付者」といいます。）によるいわゆるマネジメント・バイアウト（MBO）（注）の一環として行われる当社の普通株式（以下、「当社株式」といいます。）に対する公開買付け（以下、「本公開買付け」といいます。）に賛同する旨の意見を表明するとともに、当社の株主の皆さまに対して、本公開買付けへの応募を推奨することを決議いたしました。当該取締役会決議は、本公開買付け及びその後の一連の手続きを実施することにより当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。

その後、2024年3月13日、ブラザー工業株式会社（以下「ブラザー工業」といいます。）より当社株式に対する公開買付け（以下「ブラザー公開買付け」といいます。）の開始予定に関して公表がなされて以降、本公開買付けに賛同する旨の意見を維持することができるか否かについて慎重に検討するために、ブラザー工業並びに、Taiyo Pacific Partners L.P. 及びそのグループ（以下、総称して「タイヨウ・パシフィック・パートナーズ」といいます。）との間で、特別委員会を交え誠実に協議を継続いたしました。

当社は、ブラザー工業及びタイヨウ・パシフィック・パートナーズとの協議状況等や、特別委員会から2024年4月26日に受領した同日までの協議状況等を考慮した追加諮問事項に対する当該時点での検討結果を踏まえ、慎重に検討した結果、(i)ブラザー公開買付けによるディスシナジーの発生可能性の懸念が払拭できておらず、かつ、シナジー発生の実現性への懸念も解消できていないこと、(ii)タイヨウ・パシフィック・パートナーズによるマネジメント・バイアウト（MBO）の手法によって当社株式を非公開化することが当社の中長期的な更なる成長と企業価値向上に資するとの考えに変わりはないと判断したこと、(iii)公開買付者が本公開買付け価格を5,035円から、ブラザー公開買付けに係る買付等の価格（5,200円）を上回る5,370円に引き上げること及び公開買付け期間を延長することを決定したことから、2024年4月26日開催の取締役会において、本公開買付けに賛同する旨の意見を維持するとともに、当社の株主の皆様に対して、本公開買付けへの応募を改めて推奨することを決議いたしました。

(注) 「マネジメント・バイアウト（MBO）」とは、一般に、買収対象会社対象者の経営陣が、買収資金の全部又は一部を出資して、買収対象会社対象者の事業の継続を前提として買収対象会社対象者の株式を取得する取引をいいます。

1. 公開買付者の概要

(1) 名称	XYZ株式会社
(2) 所在地	東京都港区六本木六丁目10番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 マイケル・キング
(4) 事業内容	当社の株券等を取得及び所有すること
(5) 資本金	50,000円
(6) 設立年月日	2024年1月19日
(7) 大株主及び持株比率	Taiyo XYZ Group, L.P. 100.0%
(8) 当社と公開買付者の関係	
資本関係	該当事項はありません。
人的関係	該当事項はありません。
取引関係	該当事項はありません。
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

2. 本公開買付けの概要

(1) 買付け等を行う株券等の種類

普通株式

(2) 買付け等の期間

2024年2月13日（火曜日）から2024年5月15日（水曜日）まで（62営業日）

(3) 買付け等の価格

普通株式1株につき、金5,370円

(4) 買付け予定の株券等の数

買付予定数 12,319,393株

買付予定数の下限 8,151,100株

買付予定数の上限 一株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。